

二〇二二年度 三田学園中学校入学試験問題

前期B日程 国 語

〈注意〉 各問題の解答はすべて解答用紙に書き入れなさい。

※出題の都合上、漢字にふりがなをふる、漢字をひらがなにするなど、本文の一部に改変を行っています。

※特に指示のない限り、字数制限のある問題では句読点や記号も一字として数えます。

受験番号	
------	--

一、次の文章を読んで、あとの間に答えなさい。

ひとり暮らしの人は別にして、たぶんみなさんの家にテレビはあるんじゃないかな。今はテレビが当たり前の生活になっているけれど、放送が始まったのはもうずっと前、まだ戦後と呼ばれていた時代のことだ。

それまで国民の情報源はラジオだった。人々はラジオを通して真珠湾攻撃を知り、戦争に負けたことを知った。

もちろん戦後もラジオ放送は続いた。戦争の後遺症で日々の暮らしもままならない中、ラジオは情報源であると同時に、生活に潤いを与える娯楽でもあったんだ。ラジオは映像がないため、音がすべてだ。(A) 人々は聞き漏らすまいと、自然と神経を集中することになる。家族がみんなでラジオのそばに集まる光景が、当時は日本中で見られたんだ。

ところが一九五三年に音声だけでなく、映像も届けられるテレビ放送がスタート。ラジオは次第にお茶の間の主役の座をテレビに譲ることになる。

始まったばかりの文化に豊かな才能が流れ込み、意欲的な実験が繰り返されるのは歴史の常だ。ドキュメンタリーの分野では作り手のメッセージをぶつける熱いものや、実験的、前衛的な手法をとり入れた作品がたくさん生まれたし、ドラマやバラエティーもタブーをあえて破ろうとしているかのような自由さがあった。何より作り手たちのなかに、自分たちは時代をつくっているという使命感が強烈にあったのだと思う。

ところが子どものうちには少々羽目を外しても大目に見てもらえるけれど、大人になったら社会の目がうるさくなるように、テレビはその影響力を増すにつれ、お行儀よく振る舞うことを求められるようになった。

かくしてテレビは文化の担い手としての意識をだんだんと失っていく。そしてそれと並行するかのようには、ニュースとスポーツ、ドラマとバラエティーというメニューをそろえた大衆娯楽を提供する一大産業となり、テレビ局同士で激しい視聴率競争を繰り広げることになる。さらには

インターネットといった新しいメディアが誕生すると、どうしたらテレビに客を引きつけられるのか、どうしたら視聴者を逃がさないか、もっと言えばどうしたらチャンネルを変えられないかという意識を、作り手はより強く持つようになっていく。

そうすると、何が起きるのか。

一部の人間だけが興味を持つものではなく、できるだけ多くの視聴者が見たいものを放送しようとするようになるだろう。そのほうがいいに決まっている、一部の人がだけが興味を持つものよりも、多くの人が見たいと思う番組のほうがいい。そう考える人もいると思う。

でも、ものごとにはいつも別の顔がある。この場合でいえば、多くの視聴者が見たいと思うものを放送しようとするこの持つ、もうひとつの側面だ。

多くの視聴者が見たいものとはなんだろう。人間はひとりひとり違う。生まれ育った環境も、何に興味を持っているかも、どれだけの理解力を持っているかという知的水準も、誰一人同じではない。

そんな状況で出来るだけ多くの人に見てもらうには、どうすればいいだろう。

一番簡単なのは、人間が持つ共通の要素を盛り込むことだ。人間はひとりひとり違うけれど、誰もが持っている共通項もある。(B) 好き嫌いはあっても、食事をしない人はない。そう考えると、グルメ番組がこれだけたくさんあるのもうなずけるだろう。

恋愛はどうだろう。こちらも好みは多様だけれど、多くの人が自分のこととして興味を抱けるテーマに違いない。かくして恋愛ドラマから、カップルを誕生させるバラエティーまで、恋愛を盛りこんだ番組がない日はないほどだ。

そう考えてくると、多くの人の興味を引き付けられるのは、人間の「本能」や「感情」に訴える要素が含まれる番組と言えるのではないだろうか。ニュース番組でも強烈なキャラクターを持つ容疑者がいれば、それほど大きな事件でなくても、多くの時間をさいて映像を見せることになる。あるいはスキャンダラスな愛憎劇も、ワイドショーの**かつこう**のネタだ。

面倒な説明なしに、わかってもらえるもの。  
これこそテレビの大好物なのだ。

テレビのチャンネルを変えるとき、みんなはリモコンを使うよね。昔、まだリモコンがなかったときは、わざわざテレビのそばまで行って、チャンネルを変えていた。とすると面倒だから、あまりチャンネルを変えようとしない。ところが、リモコンだと指先ひとつだから、退屈ならすぐにチャンネルを変えるようになる。(C) 今やテレビの視聴率は一分おきに数字が出て、グラフとして表すようになってから、どうしたら一瞬たりとも興味を逃さない作りをするかを、常にテレビマンは考えなければならぬと言ってもいい。一種の強迫観念のように。

そうすると複雑なもの、わかりにくいものが排除されていくのは、自然な流れだろう。もちろん例外はある。複雑な深いテーマに果敢に挑む意欲的な番組もある。(D) 限られた予算と時間、限られた人手のなかで視聴率という結果を出すためには、わかりにくいものには背を向けがちだ。そしてもし取り上げるなら、途中の面倒なプロセスはやめて、結論だけ示していく。これはこうだからこう、くらいなら視聴者はついてきてくれるかもしれない。池上彰さんがこれだけ引っぱりだこなのは、類いまれな能力の持ち主だからだ。

最近、ニュース番組を見てもバラエティー番組を見ても、画面に文字がたくさん出てくる。テレビの用語で文字スーパードというんだけど、耳で聞けばわかるものも重ねて文字スーパードを出す。それも色とりどりの大きな文字で。

テレビだけに集中している人は少ない、どうせ何かしながら見ているのだから、音と文字の両方があったほうがわかりやすいと思う人もいるだろう。でも個人的な意見を言わせてもらおうと、**今の状況は過剰だ**と思う。

わかりにくいものは避けて、シンプルなものを取り上げる。しかもさらに親切にも音だけでなく、大きな文字も出していく。視聴者ができるだけ考えなくてもすむように、おせっかいなまでに親切心を発揮しているように見える。

そしてそれに慣れてくると、視聴者も忍耐力を失っていく。複雑なものには耳をかさず、結論だけを求めるようになってくる。ぼく自身も例外

ではない。説明がわかりにくかったりするとテレビ画面に向かってぶつぶつと文句を言っているし、要するに何なの？ と結論を性急に求めてしまう。テレビをつけても、しょっちゅうスマホをながめている。面白くないと、すぐにリモコンでザッピングをし始める。やれやれだ。

複雑なものを聞く忍耐力を失わせる犯人は、テレビだけではない。ネットではさらにわかりやすいセンサーショナルな見出し競争が繰り広げられているし、フェイクニュースに「いいね」を押している人の多くは、本文を読んでいなかったという調査もある。電車で本を読んでいる人を見かけるのは、まだだ。多くの人は、スマホの画面を通して一瞬で流れ去るタイムラインをながめている。新しい刺激に対して反射的に反応する能力はついているのかもしれない。しかしその一方で、ぼくたちは複雑なものごとを聞く忍耐力と能力を失いつつあるのではないだろうか。

(松原耕二『本質をつかむ聞く力』より)

注1 前衛的……同じ時代の他のものよりも、考え方などが新しいこと。挑戦的であること。

注2 タブー……ある集団の中で、言ったり、してはならないこと。

注3 普遍性……すべての物事に通じる性質。

注4 強迫観念……いくら打ち消そうとしても、その意思に逆らって心中につきまとう不安な気持ち。

注5 フェイクニュース……主に、ウェブサイトやSNSで発信・拡散される、真実ではない情報。

注6 タイムライン……ネットサービスで、発言が時系列で並んだ状態の表示画面のこと。

問1 (A) (D) に入る最も適切な語を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上用いてはいけません。

ア しかし イ だから ウ しかも エ たとえば

問2 ———部①「少々羽目を外し」を「テレビ」の例で説明した部分を一文でぬき出し、最初の五字を答えなさい。

問3 ———部②「文化の担い手としての意識」とありますが、それと対照的な表現を二十五字以内でぬき出して答えなさい。

問4 ———部③「人間が持つ共通の要素」とは、どのような要素ですか。二十字以内でぬき出して答えなさい。

問5           に入るものとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 複雑に見えるものを「要するにこれは、こういうことだ」と、平易な言葉で説明する

イ 興味がわかないものを「これには、こんなおもしろさがあるのだ」と、おもしろくできる

ウ 強烈な情報自体を「これを違う言い方にすると」と、安全な情報に言いかえる

エ 扱いきれない多くの情報の中から「これが正しいことである」と、正解が提示できる

問6 ———部④「今の状況は過剰だと思う」とありますが、筆者が「今の状況」を否定的にとらえるのはなぜですか。理由を説明しなさい。

問7 この文章の内容として、適当なものには「○」、適当でないものには「×」で答えなさい。

ア テレビが登場する以前、ラジオが全盛であった時代では人々の生活が今よりもっと豊かであった。

イ ラジオよりもテレビが人気になってきたのは、分かりやすいものを求めた人が多かったからである。

ウ ワイドショーなど人気のある番組は制作者の明確なメッセージが込められているから人々から支持された。

エ リモコンという便利な道具が登場することによって、テレビ局側がより視聴者獲得を意識するようになった。

オ ネットという新しいメディアの特性からすると、テレビと同様に我々にマイナスの影響を与えると考えられる。

問8 ———部 a・b の意味を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a 「歴史の常」 ア 歴史のまねごと イ 歴史の積み重ね ウ 歴史のならわし エ 歴史のいたずら

b 「かっこうの」 ア ちよūdいイ かっこいウ 大好きなエ 大きな

二、次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

練習を再開すると、不思議なことが起こった。

以前にはしんどいと思っていたことが、なんとも楽しいのだ。ハードな練習も、仕事との両立も、ダイエットも。すべてが楽しかった。そそっかしいので、ミスをする。それさえ、面白かった。

そして、いくつもの難関を、一つひとつクリアしていった。

目標としていた、世界選手権の日本代表の座を射止めて、今、俺はここにいる。

柳沢が、尾崎審判とすれ違う時「お疲れ様です」と挨拶をした。

慎司も同じように声を掛けた。

尾崎審判は、目礼しながら通り過ぎていった。

慎司が口を開いた。「明日の俺の演技、尾崎審判がジャッジしてくれるといいんですけどね。尾崎審判、厳しいけど、公正だから」

「そうだな」

「なんか、夢みたいですよ。ここにこうしているのが。明日のこと考えると、ちょっと緊張しちゃうんですけど、その緊張も、(①) ですね。前は、辛いことにはすっかり注目してたんですよ、俺。トランポリンが大好きだって気持ち大切にすべきだったの。ね、前から聞こうと思ってたんですけど、俺が国際大会に、もう一度出たいって言った時、コーチ、驚かなかったですよ。そうかって言って、頷いただけでしたよね。あれ、どうしてだったんですか？」

「ん？ そういうこともあるんじゃないかと思ってたから、かな」

「お、俺が復帰するのを、読んでたってことですか？ マジですか？ 俺が、まったくそんなこと予想してなかったのに、それって、おかしくないですか？」

「おかしくないよ。どんなことだって予想しておくのが、コーチでもんなんだ。選手以上に、点数や順位や、技のリスクや、そういったことを考えておかないといけない立場なんだから。常にいろんな可能性を頭に入れておくんだよ、コーチってのはさ」

「……そう、ですか」半信半疑ながら、一応慎司は頷いた。

「なんだ、その顔。まったく信用してないって顔だな。読んでたんだって。慎司が競技に復帰するかもしれないと思ってたからこそ、日本代表選手の指導ができる、上級コーチの資格を取っておいただから」

「えっ？」

「慎司が日の丸を胸につける試合の時は、ナショナルチームのコーチにお前を預けるって形になってた。前はさ。それはさ、心配なんだよ。お前はそっかしいから。普段の練習の時、いつも見る俺が、落ち着けて言った方が、まだききそう。そのためには、資格を取らなきゃならなかったんだよ。それで、取っておいただ」

慎司は足を止めた。

柳沢も歩くのを止めて、慎司を振り返った。

本当なのか？ それ。

俺のために？ なんだよ、それ。

嬉しくなっちゃうじゃないか。顔がにやけていく。

にやにやしながら、慎司は歩き出した。

同じように歩みを再開した柳沢が、感慨深そうな声を上げる。「慎司は変わったな」

「変わりましたか？ そうかもしれないですね。なんか、いろんな人生があるって知ったんですよ。店長になったじゃないですか、俺。それ

で、バイトの採用面接をしたんです。そしたら、すっごい、いろんなのがやってきたんですよ。履歴書見るだけでも、面白かったんですけど、実際に面接して、話を聞いてみると、もっと面白かったんですよ。一級建築士とか、来ちゃうんですよ、居酒屋のバイト募集に。どうしてって、聞くじゃないですか、やっぱり。そうすると、語るわけですよ。その人なりの事情とか。元教師ってのも、いたな。趣味の欄にミスコン荒らしって書いてあった人もいたし。思い描いていた通りの人生です、なんて人は、一人もいなくて。だから、居酒屋のバイトなんですよ。希望通りになんか、いかないもんなんだって、つくづくわかったっていうか。バイトで副店長やった時は、同僚に、あんま、興味なくて、そういうの、わからなかったんですよ、俺。それが、店長になって、ようやく、そういうの、わかってきて。そうしたら、なんか、俺って、結構幸せな方だったんじゃないかって、気付いたんです。恵まれてる人の方ばかり見て、俺には、あれもない、これもないって、不満をもってたんですけど、そういうの、違くなって。皆、いろいろ、あるんですよ。そういうの引き受けて、生きていかなくちや、いけないんですよ」

「大人になったなあ、慎司は」しみじみと言った。

「二十九歳ですよ。完全に大人ですよ」

「大人になったのに、そっかしいのが治らないのは、どうしてだろうか」

「いやあ、そう、そうですねえ。そこはね、もう、変わらないんですよ。どうしたもんかと、自分でも思ってます」

「仕事は、どうなんだ？」柳沢が質問する。「そっかしい店長なのか？」

「そうそう。そうなんです。店長、落ち着いてって、バイトの子からも、よく言われちゃってるんです」

柳沢が声を上げて笑った。

やがて、駅舎の一部が見えてきた。

ゴトゴトと背後から音がして、振り返ると、列車が走ってきていた。

年代物の貨物列車のようなそれは、非常に遅いスピードだった。

俺たちとあまり速度が変わらないのか、なかなか近付いて来ない。

その列車を待ってやりたい気持ちになって、足を止めた。

柳沢も立ち止まり、慎司と同じように列車を待った。

「俺ね」慎司は語り出す。「メダルを取ったら、来年のオリンピック行きが決定するとか、八位までに入ったら、どうなるとか、そういうの、どうでもいいんです。協会の人には、内緒ですよ。明日からの試合は、オリンピックの日本選手枠が決定する大事な試合だって、わかっています。わかってますけど、そういうの、俺、関係ないなって。国際大会で、もう一度跳ぶってのが目標だったから、それで充分っていうか。なんか、跳べるってだけで満足しちゃってる自分が、小さいなああって、思うんですけどね」

「そういう心境でいられるなら、慌てなくて済むんじゃないか？」

「そ、それが、そうじゃないんですよ。野心がなくても、慌てちゃうもんなんですよ、これが。だからね、明日、俺が慌てちゃって、失敗した

としても、それは、コーチとは関係ないことですからね。もし、コーチが側にいなかったら、もっと酷いことになってたって、そう思って欲しいんですよ」

「なんだよ、それは。跳ぶ前に、謝っておこうなんて、アスリートの発言とは思えない」

「ア、アスリートじゃありません。居酒屋の店長です。居酒屋の店長の、挑戦なんです。だからね、失敗しても、一緒に大笑いして欲しいんですよ。バッカだなあ、お前はって、コーチに言っただけで欲しいんです。そうしたら、俺……これに、ピリオドを打てると思うんです。未練って、やっぱりじゃないですか。やっぱりなんですよ。そういうの、( ⑤ ) と思うんです」

柳沢はなにも言わなかった。

列車がやっと近付いてきたと思ったら、その隣の線路を、猛スピードで別の列車が走ってきた。

その高速走行の列車は、やけに鼻先が尖った顔をしていて、どんどん向かってくる。

あのスピードじゃ、こっちの列車は追い抜かれちゃうな。

トロトロ走ってんだもんな、こっちは。

ほら、みる。あつという間に、追いつかれちゃったじゃないか。

二台が並んだのは一瞬で、すぐにこっちの列車を追い抜き、走り去った。

柳沢がぼそと呟いた。「モタモタ走ってるから」

柳沢が同じように思っていたことがおかしくて、俺は少し笑ってしまう。

やっと俺たちの前にまで来た列車が、通り過ぎていくのを、二人で眺めた。

駅舎にその姿が消えるのを見届けた後で、柳沢が言った。「重い荷物でも運んでるんだろっな、あんなに遅いのは」

「そう、そうですね、きっと」

「背負ってるもんが違うんだから、速度が違ってたって当然だな。いつか、目的地に着けば、それで、いいんだ。終着駅は同じなんだから」

柳沢が歩き出した。

慎司も続く。

⑥ 柳沢の言葉を味わいながら。

俺も、だな。

ここに来るまでに、どんだけたくさんの急行列車に追い抜かれたか。

時間がかかって、いつか、駅に辿り着ければ、それでいいんだよな。

柳沢の横顔に目を向けると、穏やかな表情をしていた。

(桂望実『頼むから、ほっといてくれ』より)

問1 ( ① ) に入る言葉を、本文からぬき出して答えなさい。

問2 部②「嬉しくなっちゃうじゃないか」とありますが、どうしてですか。理由を説明しなさい。

問3 部③「そういうの」が表す内容を簡潔に答えなさい。

問4 部④「跳べるってだけで満足」の反対となる言葉を、一語でぬき出して答えなさい。

問5 ( ⑤ ) に入る言葉として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 我慢ができる イ 努力ができる ウ 終わりにできる エ 完成できる

問6 部⑥「柳沢の言葉を味わいながら」とありますが、この時の「慎司」の気持ちを説明したものととして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 信じていたコーチの口から自分と同じ考えが出てくることで、自分の成長に驚いている。

イ コーチからの言葉が自分に対する励ましであることに気がついて、深く感謝をしている。

ウ コーチとともに歩んできたこれまでの辛い練習を思い出し、明日の自信につなげている。

エ 人それぞれ違うものだということが理解でき、今の自分の状況を前向きにとらえている。

問7 本文の表現の特徴として**適当でないもの**を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 主人公とコーチの会話を中心に描かれ、二人の関係性とその飾らない会話から読み取れるようになっていく。

イ 過去と現在の場面を行き来するような構成になっていて、主人公を取り巻く状況が分かりやすく描かれている。

ウ 会話文以外では短い文が多く、また改行が多用されることで、文章全体としてテンポのいい表現となっている。

エ 会話文以外でも主人公の内面を言葉にし、丁寧に記していくことで主人公の心理が理解しやすくなっている。

問8 部に使われている「感慨深い」の例文として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア テストが難しく感慨深そうな面持ちをする。

イ 学校での日々を思い出して感慨深い。

ウ 冬が近くなってきたころの秋の風景が感慨深い。

エ 寂しさに耐えられず感慨深そうな声を上げた。

問9 部「年代物の貨物列車のようなそれ」について、

A 「年代物の貨物列車のようなそれ」は何の比喩として描かれていますか。たとえられている対象を答えなさい。

B 「年代物の貨物列車のようなそれ」と反対の言葉を五字以内でぬき出して答えなさい。

三、次の――部と同じ働きをするものを後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 朝ごはんはほとんど食べない。  
ア 筆箱の中に消しゴムと鉛筆がない。  
イ おさない妹と買物に出かけた。  
ウ 中学生になっても体重は変わらない。  
エ 今度の試合相手はあまり強くない。

② 妹は、私も行くと言う。

- ア 小学校を卒業して中学生となる。  
イ 友達とテニスをする。  
ウ 学校を出ると母が待っていた。  
エ 初詣で、合格できるようにとお願した。

③ 実力がありながら本番で力を出しきれなかった。

- ア 小学生ながらプロ顔負けの腕前だった。  
イ テレビを見ながら夕飯を食べた。  
ウ 昔ながらの田園風景が広がっていた。  
エ 音楽を聞きながら勉強する。

四、次の①～⑧には反対の意味にとらえられることわざが二組含まれています。その組み合わせを番号で書きなさい。

- |             |           |            |
|-------------|-----------|------------|
| ① 一石二鳥      | ② 月とすっぽん  | ③ まかぬ種は生えぬ |
| ④ 猿も木から落ちる  | ⑤ 石の上にも三年 | ⑥ 果報は寝て待て  |
| ⑦ 弘法も筆のあやまり | ⑧ あぶはち取らず |            |

五、――部のカタカナを漢字に直しなさい。ただし送り仮名が必要な場合は正しく送り仮名をつけること。

- ① 旅行で世界イサンをめぐる。  
② 一つのことセンネンする。  
③ ヒンコンに苦しむ人を救う。  
④ 隊長の命令にシタガウ。  
⑤ 長年同じ会社にツトメル。



解答用紙(二)

二

問1

問2

問3

問4

問5

問6

問7

問8

問9 A

B

三 ①

②

③

四

と

と

五 ①

②

③

④

⑤

受験番号	
評点	